

2009年度 愛知大学・後援会・同窓会奨励賞授与式

(後援会課外活動奨励賞、同窓会奨励賞、公務員試験合格者奨励賞)



日時 | 2010年3月6日(土)11:00~12:30
場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 一、開式 | 一、受賞者代表謝辞 |
| 一、挨拶 愛知大学 学長 佐藤 元彦 | 公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表 |
| 一、愛知大学後援会課外活動奨励賞 | 課外活動奨励賞受賞者 代表 |
| 選考結果報告 愛知大学 学生部委員長 有澤 健治 | 同窓会奨励賞受賞者 代表 |
| 奨励賞授与 | 一、閉式 |
| 一、愛知大学同窓会奨励賞 | |
| 選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 加藤 満憲 | |
| 奨励賞授与 | |
| 一、愛知大学公務員試験合格者奨励賞 | |
| 試験結果報告 愛知大学 就職委員長 樋野 芳雄 | |
| 奨励賞授与 | |

愛知大学／愛知大学後援会／愛知大学同窓会

2009年度 同窓会奨励賞受賞者一覧

●最優秀奨励賞

個人

いまいずみ じゅんたろう
今泉 潤太郎氏 | 1955年(昭和30年)文学部文学科卒業



中日大辞典の編集・出版に多大なる貢献

◆ 推薦趣旨 ◆

今泉潤太郎先生は、本学文学部をご卒業後、新設された華日辞典編纂処に入られ、その後一貫して『中日大辞典』の編纂に携わってこられました。特に増訂版、増訂第二版は編集長として、今回の第三版は編集主幹として、愛知大学の名を世に広く知らしめるため、その編纂にまさに全身全霊を傾けてこられました。さらにこの間、教育・研究はもちろんのこと、現代中国学部の新設に尽力され学部長も務められるなど、大学教員としての職務にも誠実に対応してこられました。50年以上の永きに亘って、愛知大学の発展のために貢献してこられた今泉先生の献身的なご努力に、心より感謝申し上げます。

◇ 略歴 ◇ 1932年 豊橋生まれ/1955年 愛知大学文学部卒業後、華日辞典編纂処勤務/1959年以降教養部、現代中国学部、大学院中国研究科で中国語学担当。この間「中日大辞典」初版の編集委員、同増訂版の編集委員長・編集主幹/2003年 定年退職。愛知大学名誉教授/2010年 編集主幹として同第三版を完成

なかがわ しろう
中川 四郎氏 | 1946年(昭和21年)東亜同文書院大学(第42期)卒業



いつも同窓生の先駆者として

◆ 推薦趣旨 ◆

毎年春秋2回行われる滬友会ゴルフコンペには、可能な限り来日して参加されている。2002年10月2日には77のスコアをマークした。これは77回目のエイジシュートであった。その後も着実に記録を伸ばし、2003年1月4日80歳の時100回目、2009年12月27日86歳の時500回目を達成した。又愛大創立記念日ゴルフ大会ではシニア部門で86のスコアで優勝している。ますます元気で後輩の指導を仰ぎたい。

◇ 略歴 ◇ 1922年 米国カリフォルニア州生まれ/1941年 東亜同文書院大学予科入学(42期)/1949年 東京大学経済学部卒/1949年 三井物産入社/1956-1979年 米国三井物産勤務/1979-1988年 米国アルマックス社 SVP/1988年退社、現在ロスアンゼルス居住。

ひらまつ れいじ
平松 礼二氏 | 1965年(昭和40年)法経学部法学科卒業



日本画界の重鎮として

◆ 推薦趣旨 ◆

卒業は法学科であるが常に画家としての道を志していた。今日、日本画の重鎮として、ゆるぎない地位を確保されている。

長年画壇の巨匠が担当して来た「文芸春秋」の表紙画を平成12年1月から担当し、現在(平成22年)も継続中であり、母校の名を顕著に高めている。

—過去の受賞・出展・個展—

【賞】 セントラル美術館日本画大賞展…優秀賞、MOA 美術館大賞展…優秀賞、山種美術館賞展…大賞、中日大賞展…大賞 -他多数-

【出展】 横の会展、現代日本画の展望展、日本秀作美術展、現代の屏風絵展(ドイツ) -他多数-

【個展】 成川美術館、高村美術館、刈谷市美術館、松坂屋美術館、日本橋三越美術館、大丸百貨店美術館、高崎市美術館(台湾)、台北美術館(台湾) -他多数-

◇ 略歴 ◇ 1941 東京都に生まれ、1961 愛知県立旭丘高校美術科卒業、1965 愛知大学 法経学部法学科卒業、1979 第1回中日大賞展、大賞受賞(中日新聞)、1988 第1回 MOA 美術館優秀賞受賞、1989 第10回山種美術館賞展大賞受賞、1990 第10回山種美術館賞展大賞受賞、1990 愛知大学女子短大講師(非常勤)、1994 多摩美術大学教授、1998 平松礼二展(韓国ジャパンウィーク)(外務省)、2000 第12回 MOA 岡田茂吉賞大賞受賞、2000 『文芸春秋』2000年1月号より表紙画を担当(現在に至る)、2001 中日劇場 新緑帳原画製作「モネの池に桜」、2002 第35回東海テレビ文化賞受賞(東海テレビ放送)、2002 ステンドグラス「若人の城」制作(防衛大学校創立50周年記念講堂)、2004 第57回中日文化賞受賞(中日新聞社)、2004 愛知大学創立50周年記念ステンドグラス「日本の新しい朝の光」制作、2005 日本・ベトナム文化交流政府代表ミッション(団員)訪越-日本政府・ベトナム政府、2006 町立湯河原美術館 平松礼二館 開館、2005 日本・韓国文化交流委員(国際交流基金)、2006 了徳寺大学初代学長、2008 万国博諮問委員(経済産業省)、国内・国外美術館等で個展多数、刊行物20冊余、その他、駐仏、駐独日本大使館、総領事館にて文化講演等

●優秀奨励賞

個人

おおはた こういち
大波多 廣一氏 | 1968年(昭和43年)法経学部法学科卒業



愛知大学の馬術の水準を高め、生涯スポーツの魅力

◆ 推薦趣旨 ◆

伝統ある愛知大学馬術部 OBとして、馬術の指導に尽力され全国の学生馬術の技術向上を図る。愛大馬術部でも多大の指導を仰ぎ、平成19年から3年連続して全日本学生馬術選手権に中部8県の代表として出場するなど中部の大学の中、確固たる強豪へ育て上げた。

日本馬術連盟の中部代表として理事を3期務められる。

◇ 略歴 ◇ 1968年 愛知大学法経学部法学科卒業/1999年(台北)、2000年(フフホト)、2001年(ソウル)、2002年(香港)、2003年(北京)での東アジア馬術大会にて日本代表チーム監督を務める/2009年 ユースオリンピック(シドニー) コーチ/日本オリンピック委員会強化コーチングスタッフ、社団法人日本馬術連盟 理事、全日本学生馬術連盟 理事、愛知県馬術連盟 理事長、中部学生馬術連盟 副会長



50歳にてプロ歌手デビュー、Two ボイスシンガーとして世界で稀有な魅力

◆ 推薦趣旨 ◆

卒業後、IT 関係に従事していたが、50歳を前にダブルボイスであることに気がつき、2009年10月「クラシック&ポップス」へ、世界でも稀有な「ツーボイス・シンガー」としてプロデビューした奇才ボーカリスト。「イザナギ TaRO」(芸名)として音楽ファンの注目を集めている。

カウンターテノールとテノールを生かした、アリアとロックが融合したような曲「百億の星、千億の愛」を自ら作詞・作曲して登場。現在も関東や名古屋のテレビ、ラジオに生出演、放送されている。

またボランティア活動として、2008年から社会福祉法人や老人ホーム等を訪れ、「ふれあいコンサート」に取り組んでいる。

◇ 略歴 ◇ 1981年 愛知大学法経学部法学科卒業／卒業後 IT 系の企業を経て、1997年にはコンピューターテレフォニー分野で先駆者となり、CTI、CRM 等のビジネス書で多数の著書を執筆／1999年 独立し IT 系会社設立／傍ら2008年から音楽ボランティア活動を契機に世界的に稀有なる3オクターブをこえる歌唱スタイルを開発し活動／現在数々のラジオパーソナリティを務める



1年次より弓道諸大会で活躍する女子部主将

◆ 推薦趣旨 ◆

本学に入学1年次より、本学弓道部で優れた成績を上げており、女子部の主将として団体戦での優勝、準優勝の原動力となる活躍をしている。

本学でのスポーツ部活動を通じて、今後も、さらなる期待が持たれる。

[成績]

【1年次】第18回東海学生弓道女子新人戦 団体・個人準優勝

第51回東海学生弓道秋季リーグ 女子団体・優勝、女子個人・準優勝(皆中賞)

第31回全日本学生弓道女子王座決定戦・東西学生弓道選抜対抗試合 女子団体・優勝、優秀選手賞

第50回東海学生弓道選手権大会 女子団体・優勝、女子個人2位(皆中賞)

第41回愛知県下学生弓道選手権大会 女子団体・優勝、女子個人3位

第41回中日本弓道近の選手権大会 一般女子Cチーム・優勝、個人の部優勝

【2年次】第19回東海学生弓道女子新人戦 個人優勝

第52回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子個人・準優勝(皆中賞)

第32回全日本学生弓道女子王座決定戦・東西学生弓道選抜対抗試合 西軍 優勝

【3年次】第53回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子団体・優勝、女子個人・優勝

第33回全日本学生弓道女子王座決定戦・東西学生弓道選抜対抗試合 西軍 優勝(団体戦・皆中賞)、的中率2位

◇ 略歴 ◇ 2007年 愛知大学経済学部経済学科入学

● 奨励賞

個人



愛知大学の風物詩(絵画)を描いて広く紹介

◆ 推薦趣旨 ◆

15年程前から愛知大学豊橋校舎の設立当時からあった木造建物を絵画にして残しておきたいとの思いから描き出したが、特にキャンパスから少し離れたところにある「愛知大学公館」の季節により表情の違う事に関心を持ち、季節毎に描いている。うち『公館と古井戸』をテーマに描いた油絵(100号)が第71回一水会展(東京平成21年9月、大阪11月、名古屋12月)で入選、愛知大学の歴史を多くに知らしめた。

◇ 略歴 ◇ 1971年 愛知大学短期大学部卒業／愛知大学職員として働きながら描き、毎年美術館や画廊などで発表／彩日会地方美術功労賞・彩日会100人展回数受賞、豊橋市民展受賞、愛知県美術展入選、中部一水会展入選／2009年 第71回一水会展入選



役者・作家・演出家・ライター・演技講師として活躍

◆ 推薦趣旨 ◆

在学中に「劇団うりんこ」創設者、故しかたしん氏に師事し、宮澤賢治童話の芝居他・発表を行ったのをきっかけに、演芸・芸能の世界へ。小学校を対象としたリーディング活動を行って、平成13年に劇団「上海自動車」を旗揚げ、座長として定期公演を毎年行う。作・演出・出演とすべて自ら手掛ける。

他劇団や小学校での作・演出も行い、文化庁芸術拠点形成事業への出演、脚本の提供、コラムやエッセーの執筆、大手芸能プロダクションでも演劇講座の講師を務めるなど活躍し、自ら映画、テレビドラマなどにも出演している。

◇ 略歴 ◇ 劇団上海自動車主宰。役者、作家、演出家、ライター。プロダクションにて演技講師もつとめる。日本劇作家協会所属。日本演出者協会所属。愛知大学同窓会安城支部理事。愛知大学在学中に劇団うりんこの創設者、故しかたしん氏に出会い師事。小学生を対象にリーディングの活動を行う。2001年喜劇集団「劇団上海自動車」旗上げ。全作品の作・演出・出演をする。他劇団や小学校での作・演出も手がけ、文化庁芸術拠点形成事業への出演・脚本の提供やコラム・エッセーの執筆など多岐にわたり活躍。日本青少年演劇作家会議劇作講座 第8回 3分間ふたり

すえき いくえ
末木 郁恵氏 | 国際コミュニケーション学部4年次生



手話サークル活動の創設と発達支援学級でのボランティア活動

◆ 推薦趣旨 ◆

2009年4月「手話サークル」を創設し、7名の部員が所属している。特別支援に関心を持つ学生を募り、聴覚障害者への理解を深めるため、サービス助士に聴覚障害についての講演や、学生同士で聴覚障害についてのプレゼンテーション、指文字の練習を行っている。また聴覚障害者や手話通訳者を外部から招き、実質的な研鑽を積んでいる。

小学校の発達支援学級でボランティア活動にも積極的に参加し、社会教育の面でも地域交流に貢献している。また教員採用試験にも合格し、特別支援学校で英語教師として英語教育と手話技能の特技を生かした活躍が期待される。

◇ 略歴 ◇ 2006年 愛知大学国際コミュニケーション学部入学

みやじ あや みやじ あゆみ
宮地 彩氏・宮地 歩氏 | 愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科2年次生



みやじ あや
宮地 彩氏

みやじ あゆみ
宮地 歩氏

【ソフトテニス部】

真面目に練習し着実に力をつけ実績を上げ、勉学も頑張り仲間と仲良く元気に学生生活を送る

◆ 推薦趣旨 ◆

[成績]

【1年次】短大会個人優勝 団体3位

【2年次】東海リーグ1部昇格(春期)、東海リーグ1部3位(秋期)、愛知リーグ個人3位(秋期)、アサヒ杯2位団体、短大会個人・団体優勝

◇ 略歴 ◇ 2008年 愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科入学

● 優秀奨励賞

団 体

こうしきやきゅうぶ
硬式野球部



愛知大学野球での活躍・貢献

◆ 推薦趣旨 ◆

2009年度の硬式野球部は春季リーグで10勝無敗でⅡ部優勝を果たし5季ぶりにⅠ部昇格を決め、続いて1、2年生だけの新人戦に優勝し、秋季リーグ戦では、昇格して即10季ぶり10回目の優勝を果たした。レギュラーから4名の選手がベストナイン賞を受賞し、特にバッテリーはプロからも注目される選手で、祖父江投手は春季・秋季リーグ戦で最優秀選手賞にも選ばれ、また赤田捕手は中日ドラゴンズへの入団が決定した。

あいちだいがくおうえんだん
愛知大学応援団チアリーダー部



応援団に結成され愛知大学のスポーツ応援活動に貢献

◆ 推薦趣旨 ◆

2007年(平成19年)に荒木仁子愛知大学応援団後援会会長の尽力により応援団内にチアリーダー部が結成された。部の誕生は応援団が結成されて半世紀以上、56年経ってからである。この年11月の愛知大学同窓会全国総会(豊橋・ホテル日航)で華々しくデビューした。

以来3年間、チアリーダー部コーチの可見暁恵さんの指導で、めきめき上達し愛知大学応援団の近代化の一翼を担い、愛知大学のスポーツの応援活動を通じて貢献してきた。

この中心的役割を続けてきた初代7名は、今年でチアリーダー部を卒業する。結成以来の努力と功績を称える。

● 奨励賞

団 体

あいちだいがくほうがくぶ ねんもぎさいばん
愛知大学法学部2009年模擬裁判プロジェクトチーム 代表：つづき のりよし 憲儀



模擬裁判を開催し、市民を啓発

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学法学部は、2009年5月スタートした裁判員制度を市民により深く理解していただくため、2005年度から開催しているが、5回目の2009年は12月12日(土)、車道校舎でも開催した。企画・運営したのは「法学特殊講義6・7」(担当：広瀬裕樹教授)の受講生を中心とした模擬裁判プロジェクトチーム(3~4年生約50人)で、当日は250名を超える参加があり、市民・社会からの関心の高さを示した。

今回は「あなたの意見で」~悩み、悩まれ、そして自分の意見で~をテーマに、第1部で刑事裁判の原則について劇を交えて説明し、第2部で裁判員制度を想定した模擬裁判を実演した。ここで扱った事件は、ストーカー殺人。元恋人からのストーカー行為に悩んでいた女性が胸を刺されて死亡しているのが発見され、発見時に遺体の横に立っていたストーカーの男性が現行犯逮捕されるというもので、被害者を殺害したのは本当に被告人なのかということを争点とした。検察官、弁護士、被告人、証人は本学学生が演じ、公募で集まった6人の裁判員役と本学法学部学生3人の裁判官役が評議し判決を下した。

模擬裁判の準備には、同年4月から8ヶ月も費やした。裁判員制度の勉強から始め、事件のシナリオづくりを行い、秋からは模擬裁判のリハーサルを続け改善を重ねてきた。

●資格試験奨励賞

新司法試験



小林 智哉

2006年大学院法務研究科修了



新堂 桂子

2007年大学院法務研究科修了



宮地 紘子

2007年大学院法務研究科修了



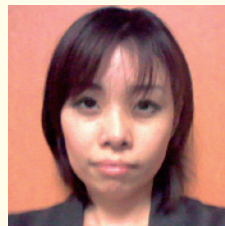
増田 大輔

2008年大学院法務研究科修了



小川 徹

2009年大学院法務研究科修了



安田 朋江

2009年大学院法務研究科修了



井上 昌哉

2009年大学院法務研究科修了



鈴木 哲広

2009年大学院法務研究科修了



高見 優子

2009年大学院法務研究科修了



西村 信俊

2009年大学院法務研究科修了



鈴木 淳

2009年大学院法務研究科修了



稲田 光輝

2009年大学院法務研究科修了



木下宗一郎

2009年大学院法務研究科修了



小島 三奈

2009年大学院法務研究科修了



鈴木 亨

2009年大学院法務研究科修了



瀧沢 明継

2009年大学院法務研究科修了



武林 寛朗

2009年大学院法務研究科修了



原 健治

2009年大学院法務研究科修了



原 英士

2009年大学院法務研究科修了



山本 哲也

2009年大学院法務研究科修了

公認会計士試験



伊藤 泰規

2008年大学院会計研究科修了



高林 義紘

2008年大学院会計研究科修了



大竹 祐子

2010年大学院会計研究科修了予定



谷口 佳紀

2010年大学院会計研究科修了予定

税理士試験



乙部 享祐

2008年大学院会計研究科修了



水谷 聡

2009年大学院会計研究科修了



松岡憲一郎

2009年大学院会計研究科修了

愛知大学同窓会奨励賞授与取扱要領

目的

この取扱要領は、本会会員（滬友会、推薦校友を含む。）並びに愛知大学関係者（教職員、在学生等）が社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、または、これらの分野で活躍することが期待される個人又は団体に対し、愛知大学同窓会（以下「同窓会」という。）が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

表彰

表彰は、会員から推薦または申請のあった個人及び団体に対し、選考の結果、個人にあっては表彰状並びに副賞（記念品）、団体にあっては表彰状並びに副賞（奨励金）を授与する。

推薦

候補者の推薦（自薦を含む。）は、毎年12月20日までに社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書（800字程度）を同窓会会長宛に提出する。ただし、叙勲及び功労賞等の受賞者は対象から除くものとする。

申請

資格試験奨励賞は、毎年12月20日までに、会員から同窓会長宛に申請書および合格したことを証明する書類（写し）を提出する。

選考

会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報委員会で選考し、同窓会常任理事会で決定する。

表彰の種類

表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

A 最優秀奨励賞（全国レベルでの活躍）

個人…記念品 10万円相当 団体…奨励金 10万円

B 優秀奨励賞（地域レベルでの活躍）

個人…記念品 5万円相当 団体…奨励金 5万円

C 奨励賞（一般的な活躍）

個人…記念品 3万円相当 団体…奨励金 3万円

D 資格試験奨励賞

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中又は卒業した者で以下の試験に合格した者。

【対象資格試験】

1 司法試験 2 公認会計士試験 3 弁理士試験 4 国家公務員第Ⅰ種試験 5 司法書士試験 6 税理士試験

個人…記念品3万円相当

附則(制定)

この取扱要領は、2003年1月18日から施行する。

この改正取扱要領は、2006年5月13日より施行する。